

養気軒

ようきけん



Nagasaki Kawatana
Medical Center

vol. 111
2025 Summer

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

111 | 外来採血業務

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。



臨床検査技師とともに取り組む外来採血

外来では、毎日30～45名の患者さんの採血を行っています。採血の結果は、診療や治療に欠かすことのできないものです。そのため正確な結果が得られるよう、丁寧かつ確実に採血を行い、それぞれの検査に適した方法で検査が実施されます。

臨床検査技師は、検体検査や生理機能検査など様々な検査に関する知識・技術を持ち、かつ採血を実施できる資格も有しています。

患者さんが安全・安心かつスムーズに診療が受けられるよう、またタスクシェアの推進も含め、今年度5月より、看護師と臨床検査技師とが協働し、外来採血業務に従事しています。

長崎川棚医療センターではチーム医療としての連携を強化し、医療の質向上を目指しています。

(外来 副看護師長 松尾 賢史)



院長・副院長杯争奪！ドッジボール大会！

創立80周年記念イベント委員 庶務係長 **森 翔一郎**

6月5日、創立80周年記念イベントとして、院内ドッジボール大会を開催しました！

会場には約100名の職員が集まり、白熱した試合を繰り広げながら、笑顔と歓声に包まれたひとときを過ごしました。

日頃の業務では見られない一面が垣間見える場面も多く、チームワークやコミュニケーションの大切さを改めて実感する機会となりました。



優勝はチーム「パワー！」（6階・8病棟チーム）。見事な連携プレーで栄冠を勝ち取りました！

準優勝はチーム「看護部長とゆかいな仲間たち」（リハビリ・MSW・看護部幹部チーム）。惜しくも敗れはしましたが、見事なチームワークを見せてくれました！

その他のチームも全力でプレーする姿がとても印象的でした。

今後も、職員同士の交流を深めるイベントを定期的に企画してまいります。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！



『食事とおしゃべりで職員間交流』



教育担当師長 **松本 深雪**

長崎川棚医療センターは、今年創立80周年を迎え、当院の良さを再発見していこうと、働きやすい職場づくりや職場内のコミュニケーションの充実、職員同士の対話の促進を目指しています。

その一環として、5月から昼休憩の時間を活用した『ランチ会』を開催しています。

『ランチ会』は、「ラダー研修生同士」や「同期の仲間」「職場の異なる採用同期」などで、お弁当を持ち寄って食事をしたり、お菓子を摘まんだりしながら、

ざっくばらんにおしゃべり&Teatimeを過ごし、リフレッシュできる場となっています。先輩職員等からランチ会へ送り出してもらったり、時にはお菓子や飲み物の差し入れを頂くことがあり、参加者の楽しみや当院職員の愛情が感じられる機会ともなっています。

このように、病院内の職員のコミュニケーションが活発になり相手を思いあうことで、働きやすい職場づくりが促進され、さらには患者・家族の皆さんへの良い医療・看護に繋がっていけばよいあと願う日々です。



ONE TEAM!



診療科紹介(放射線科)

放射線科医長 中村 悟

長崎川棚医療センター放射線科は、現在、放射線科医2名と大学からの月2回の応援で、読影、検査に従事しています。

大型機器としては、CT、MRI、RI(シンチグラフィ)があり、消化管や造影検査の一部を担っています。最近では、骨密度測定機器を導入しました。CT、MRIでは、Vincentという3D画像解析ソフトを使用し、頭部の脳動脈の3D画像や胸腹部の3D血管画像と腫瘍との位置関係など分かりやすい画像も提供しています。

また、MRIでは、全身拡散強調画像DWIを撮像し、PETにも引けを取らない悪性腫瘍や転移の有無の参考にしています。RIでは、パーキンソン病の診断に必須のDATスキャンや心筋シンチグラム、脳血流ECD、骨転移の有無などを診断する骨シンチグラム、腫瘍や炎症の有無を調べるGa(ガリウム)シンチグラム、心臓の虚



血を診断するTl(タリウム)シンチグラムなどを施行しています。

今後とも臨床の先生方の診断に貢献すべく、スタッフ一同頑張っていこうと思いますので、宜しくお願いいたします。

部署紹介(臨床検査科)

臨床検査技師 奥野 冴乃

臨床検査科は、医師の指示のもと検査を行っており、臨床検査技師9名が従事しています。

業務内容は、血液や尿などの検体検査、心電図やエコーなどの生理検査をはじめ、細菌検査や輸血検査を行っています。診断や治療に役立つ正確かつ迅速なデータの提供に努め、安心して検査を受けていただけるよう丁寧な対応を心がけています。

また、検査の信頼性を保つため精度管理を徹底し、様々な資格の取得に取り組んでいます。これからも医療チームの一員として、質の高い検査を提供してまいります。



編集後記

栄養管理室長 松下 めぐみ

新年度になり数か月がたちました。季節外れの暑い日や、急に寒くなったりと季節がわからなくなるくらい気温が安定せず、近年は体温調整が難しくなっています。安定しないのは気温だけではありません。お米の価格は上昇するばかりで、備蓄米が販売されてもこの先どうなるのか予測がつきません。

病院食のお米も一年前より1kgの値段が3倍になっています。今後も物価高騰は避けられませんが可能な限りおいしい食事を提供したいと考えています。記事を書いているときは田植えの時期です。お米の収穫がされる秋が今から待ち遠しいです。